

平成30年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月13日

上場会社名 日創プロニティ株式会社 上場取引所 福
 コード番号 3440 URL http://www.kakou-nisso.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 徹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 諸岡 安名 TEL 092-552-3749
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第3四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年8月期第3四半期 | 4,795 | 3.5 | 534 | △15.9 | 550 | △17.3 | 425 | △2.2 |
| 29年8月期第3四半期 | 4,634 | 39.2 | 636 | 17.9 | 665 | 21.0 | 435 | 22.5 |

(注) 包括利益 30年8月期第3四半期 424百万円 (△3.6%) 29年8月期第3四半期 439百万円 (23.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年8月期第3四半期 | 66.27 | — |
| 29年8月期第3四半期 | 61.08 | — |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年8月期第3四半期 | 11,958 | 7,529 | 63.0 |
| 29年8月期 | 9,724 | 7,266 | 74.7 |

(参考) 自己資本 30年8月期第3四半期 7,529百万円 29年8月期 7,266百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年8月期 | — | 0.00 | — | 25.00 | 25.00 |
| 30年8月期 | — | 0.00 | — | | |
| 30年8月期(予想) | | | | 25.00 | 25.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,100 | 27.1 | 1,100 | 20.1 | 1,124 | 18.7 | 821 | 31.4 | 127.79 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年7月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年8月期3Q | 7,360,000株 | 29年8月期 | 7,360,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年8月期3Q | 935,350株 | 29年8月期 | 935,350株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年8月期3Q | 6,424,650株 | 29年8月期3Q | 7,124,650株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|---|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 8 |
| (セグメント情報) | 9 |
| 3. 補足情報 | 10 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府と日銀による経済政策及び金融緩和政策の継続等を背景に緩やかな回復基調が続き、企業収益及び企業の業況判断についてはともに改善し、設備投資には増加の傾向が見られました。

このような状況の中、当社グループは中期経営計画に基づいて、M&Aによる事業領域の拡大を継続し、当第3四半期連結会計期間において、空調関連機器製造業の株式会社ダイリツを子会社化いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、積極的な営業活動とコスト削減に取り組んだ結果、売上高は4,795百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は534百万円（同15.9%減）、経常利益は550百万円（同17.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は425百万円（同2.2%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

(金属加工事業)

新規取引先の開拓、既存取引先のリピートに積極的に取り組むとともに、太陽電池アレイ支持架台の大型受注案件を計画に基づき順次消化したこと等により、売上高は3,350百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は561百万円（同14.8%減）、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は6,607百万円（同119.5%増）となりました。

なお、平成30年3月7日付けで、空調関連機器製造業の株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末（平成30年5月31日）としているため、金属加工事業において、同社の業績は含まれておりません。

(ゴム加工事業)

営業活動の強化を推進し、建機業界向け部材や住宅メーカー向け建築部材等が堅調に推移したものの、修繕費等の増加により、売上高は934百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は154百万円（同13.8%減）、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は82百万円（同13.0%増）となりました。

(建設事業)

グループ間の情報連携を図り、材工一括受注を掲げ営業活動の強化を推進した結果、売上高は511百万円（前年同四半期比27.0%増）、セグメント利益は59百万円（同32.0%増）、当第3四半期連結累計期間末における受注残高は1,719百万円（前年同四半期の受注残高は49百万円）となりました。

(注) セグメント利益の合計額と営業利益との差異△241百万円は、主として各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は8,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,833百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権が664百万円減少するとともに、平成30年8月期第3四半期会計期間において、連結子会社が1社増加したこと等を背景に現金及び預金が536百万円、受取手形及び売掛金が912百万円、商品及び製品が260百万円、仕掛品が573百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は3,478百万円となり、前連結会計年度末に比べ401百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加等を背景に有形固定資産が499百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は11,958百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,234百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,955百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,608百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加等を背景に支払手形及び買掛金が314百万円、短期借入金が1,120百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は1,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円増加いたしました。これは主に、連結子会社の増加等を背景に長期借入金が256百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,970百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,529百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に係る四半期包括利益424百万円及び剰余金の配当160百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.0%（前連結会計年度末は74.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成29年10月13日付け「平成29年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想の修正を行っております。詳細については、本日（平成30年7月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,667,011 | 4,203,369 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,073,474 | 1,986,165 |
| 電子記録債権 | 846,210 | 181,280 |
| 完成工事未収入金 | 21,027 | 166,300 |
| 商品及び製品 | 166,588 | 426,807 |
| 仕掛品 | 376,505 | 950,107 |
| 未成工事支出金 | — | 57,159 |
| 原材料及び貯蔵品 | 418,200 | 411,137 |
| その他 | 78,247 | 98,237 |
| 貸倒引当金 | △56 | △54 |
| 流動資産合計 | 6,647,210 | 8,480,511 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 956,727 | 994,534 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 941,943 | 1,028,442 |
| 土地 | 645,888 | 988,368 |
| リース資産(純額) | 114,217 | 133,884 |
| 建設仮勘定 | — | 10,693 |
| その他(純額) | 32,244 | 34,979 |
| 有形固定資産合計 | 2,691,020 | 3,190,903 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 153,861 | 126,770 |
| その他 | 54,976 | 49,391 |
| 無形固定資産合計 | 208,838 | 176,161 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 65,416 | 69,939 |
| その他 | 112,123 | 45,257 |
| 貸倒引当金 | △23 | △3,820 |
| 投資その他の資産合計 | 177,516 | 111,376 |
| 固定資産合計 | 3,077,374 | 3,478,442 |
| 資産合計 | 9,724,585 | 11,958,953 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年8月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成30年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 176,138 | 490,448 |
| 工事未払金 | 43,588 | 117,613 |
| 短期借入金 | 340,000 | 1,460,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 149,147 | 226,124 |
| 未払法人税等 | 253,036 | 105,488 |
| 賞与引当金 | 7,145 | 71,883 |
| その他 | 377,591 | 483,443 |
| 流動負債合計 | 1,346,648 | 2,955,000 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 516,014 | 772,288 |
| 退職給付に係る負債 | 46,669 | 77,008 |
| 資産除去債務 | 1,792 | 98,822 |
| その他 | 547,060 | 525,925 |
| 固定負債合計 | 1,111,537 | 1,474,044 |
| 負債合計 | 2,458,185 | 4,429,045 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,176,968 | 1,176,968 |
| 資本剰余金 | 1,096,968 | 1,096,968 |
| 利益剰余金 | 5,734,137 | 5,999,266 |
| 自己株式 | △747,361 | △747,361 |
| 株主資本合計 | 7,260,711 | 7,525,841 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,688 | 4,067 |
| その他の包括利益累計額合計 | 5,688 | 4,067 |
| 純資産合計 | 7,266,399 | 7,529,908 |
| 負債純資産合計 | 9,724,585 | 11,958,953 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 4,634,435 | 4,795,967 |
| 売上原価 | 3,276,728 | 3,485,748 |
| 売上総利益 | 1,357,706 | 1,310,218 |
| 販売費及び一般管理費 | 721,571 | 775,525 |
| 営業利益 | 636,135 | 534,693 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 192 | 128 |
| 受取配当金 | 1,932 | 1,688 |
| 受取家賃 | 3,877 | 3,706 |
| 受取補償金 | 1,217 | 7,616 |
| 助成金収入 | 16,368 | 2,832 |
| その他 | 11,209 | 9,395 |
| 営業外収益合計 | 34,798 | 25,367 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,378 | 4,293 |
| 保険解約損 | — | 1,820 |
| 匿名組合投資損失 | — | 3,156 |
| その他 | 893 | 0 |
| 営業外費用合計 | 5,271 | 9,270 |
| 経常利益 | 665,661 | 550,790 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 1,109 | — |
| 投資有価証券売却益 | 293 | 2,561 |
| 負ののれん発生益 | — | 76,145 |
| 特別利益合計 | 1,403 | 78,707 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 0 | — |
| 固定資産除却損 | 199 | 355 |
| 特別損失合計 | 200 | 355 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 666,864 | 629,142 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 232,563 | 209,728 |
| 法人税等調整額 | △879 | △6,331 |
| 法人税等合計 | 231,683 | 203,397 |
| 四半期純利益 | 435,180 | 425,745 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 435,180 | 425,745 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 435,180 | 425,745 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,722 | △1,620 |
| その他の包括利益合計 | 4,722 | △1,620 |
| 四半期包括利益 | 439,903 | 424,124 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 439,903 | 424,124 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第3四半期連結会計期間において、株式会社ダイリツを子会社化したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 金属加工事業 (注) 1 | ゴム加工事業 | 建設事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,289,732 | 942,038 | 402,664 | 4,634,435 | — | 4,634,435 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 28,409 | 1,249 | — | 29,658 | △29,658 | — |
| 計 | 3,318,142 | 943,287 | 402,664 | 4,664,094 | △29,658 | 4,634,435 |
| セグメント利益 | 658,860 | 179,219 | 45,392 | 883,472 | △247,337 | 636,135 |

(注) 1. 金属加工事業につきましては、平成29年4月7日付けで、金属精密切削加工業の綾目精機株式会社を子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成29年5月31日)としているため、同社の業績を除いて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△247,337千円は、セグメント間取引消去18,155千円、子会社株式の取得関連費用△26,592千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△238,900千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「金属加工事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式取得により綾目精機株式会社を子会社化したことに伴い、同社を当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において、67,551千円でありませぬ。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年9月1日至平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|-----------------|---------|---------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 金属加工事業 (注) 1 | ゴム加工事業 | 建設事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,350,412 | 934,000 | 511,554 | 4,795,967 | — | 4,795,967 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 201,395 | 1,169 | 703 | 203,268 | △203,268 | — |
| 計 | 3,551,807 | 935,170 | 512,258 | 4,999,235 | △203,268 | 4,795,967 |
| セグメント利益 | 561,324 | 154,572 | 59,902 | 775,798 | △241,105 | 534,693 |

(注) 1. 金属加工事業につきましては、平成30年3月7日付けで、空調関連機器製造業の株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成30年5月31日)としているため、同社の業績を除いて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△241,105千円は、セグメント間取引消去31,068千円、子会社株式の取得関連費用△33,035千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△239,138千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「金属加工事業」セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間に株式取得により株式会社ダイリツを子会社化したことに伴い、同社を当第3四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、76,145千円であります。また、当該負ののれん発生益は、セグメント利益には含めておりません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日) | |
|----------|---|------------|
| | 金額(千円) | 前年同四半期比(%) |
| 金属加工事業 | 2,815,209 | 119.4 |
| ゴム加工事業 | 457,195 | 103.3 |
| 合計 | 3,272,405 | 116.9 |

- (注) 1. 金額は製造原価によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成30年3月7日付けで、株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成30年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の生産実績は含まれておりません。
 4. 建設事業については、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績を記載しておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日) | | | |
|----------|---|------------|-----------|------------|
| | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
| 金属加工事業 | 7,213,791 | 244.1 | 6,607,958 | 219.5 |
| ゴム加工事業 | 945,568 | 98.9 | 82,494 | 113.0 |
| 建設事業 | 2,164,708 | 478.9 | 1,719,820 | 3,484.6 |
| 合計 | 10,324,069 | 236.7 | 8,410,272 | 268.5 |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. 平成30年3月7日付けで、株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成30年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の受注高は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日) | |
|----------|---|------------|
| | 金額(千円) | 前年同四半期比(%) |
| 金属加工事業 | 3,350,412 | 101.8 |
| ゴム加工事業 | 934,000 | 99.1 |
| 建設事業 | 511,554 | 127.0 |
| 合計 | 4,795,967 | 103.5 |

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
 2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

| 相手先 | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日) | | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年9月1日 至 平成30年5月31日) | |
|-------------------|---|-------|---|-------|
| | 金額(千円) | 割合(%) | 金額(千円) | 割合(%) |
| 新日鉄住金エンジニアリング株式会社 | 503,862 | 10.9 | 535,500 | 11.2 |

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 4. 平成30年3月7日付けで、株式会社ダイリツを子会社化し、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末(平成30年5月31日)としているため、金属加工事業において、同社の販売実績は含まれておりません。